学校番号	４１５

令和５年度　国語科

教科	国語科	科目	論理国語	単位数	３単位	年次	２年次
使用教科書	論理国語（大修館書店）						
副教材等	錬成現代文２＋（尚文出版）、常用漢字ダブルクリア四訂版（尚文出版）、新訂国語図説六訂版（京都書房）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

社会に出るうえで必要な「話す・聞く能力」「書く能力」を身につけるためには、まずは様々な文章を「読む」ことが大切です。あらゆる文章を読み、話し合いや文章記述発表など、アクティブな活動に取り組むことで、確実な力を養い、「言葉」を味方につけましょう。
・予習として必ず本文を読んでおくこと。また、何より授業の後の復習が大事です。
・提出物の期限は守りましょう。定期考査は学習計画を立てて臨んでください。

2　学習の到達目標

・実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。
・論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けている。	論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
	芸術と文化―美しいとはどのようなことか？ ［教材］『ミロのヴィーナス』	a：論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し，文章の中で使うことを通して，語感を磨き豊かな語彙を扱うことができる b[読]：内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握することができる c：言葉を通して他者や社会に関わろうとしている	ワークシート 小テスト 定期考査	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート 振り返りシート
	共同体のいま―社会において価値あるものとは何か？ ［教材］『家族化するペット』	a：文や文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解している b[書]：情報の妥当性や信頼性を吟味しながら、論点を明確にして主張を支える適切な根拠をそろえることができる c：言葉を通して他者や社会に関わろうとしている	ワークシート 小テスト 定期考査	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート 振り返りシート
	科学の可能性―科学は人々を幸福にするのか？ ［教材］『自己をモデル化する知能』	a：文章の種類に基づく効果的な段落の構造や論の形式など，文章の構成や展開の仕方について理解している b[読]：内容や構成、論理の展開などを的確に捉え、論点を明確にしながら要旨を把握することができる c：言葉を通して他者や社会に関わろうとしている	ワークシート 小テスト 定期考査	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート 振り返りシート
	科学の可能性―科学は人々を幸福にするのか？ ［教材］『人工知能の可能性と罠』	a：文章の種類に基づく効果的な段落の構造や論の形式など，文章の構成や展開の仕方について理解している b[書]：文章の構成について、書き手の意図との関係を踏まえて多面的・多角的な視点から評価する c：言葉を通して他者や社会に関わろうとしている	ワークシート 小テスト 定期考査	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート 振り返りシート
	日本語の多様性―なぜ言葉を使い分けるのか？ ［教材］『「方言コスプレ」現象』	a：論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し，文章の中で使うことを通して，語感を磨き豊かな語彙を扱うことができる b[読]：実社会や学術的な学習の基礎に関する事柄について、様々な観点から情報を収集、整理することができる c：言葉を通して他者や社会に関わろうとしている	ワークシート 小テスト 定期考査	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート 振り返りシート
	思考の枠組み―認識や行動の違いは何から生まれるのか？ ［教材］『スキーマと記憶』	a：論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し，文章の中で使うことを通して，語感を磨き豊かな語彙を扱うことができる b[読]：主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈することができる c：言葉を通して他者や社会に関わろうとしている	ワークシート 小テスト 定期考査	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート 振り返りシート
	社会の原点―何が人間の社会を成り立たせているか？	a：文や文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解している	ワークシート 小テスト	ワークシート	ワークシート 振り返りシート

	［教材］『社会的実在としての言語・法・貨幣』	b[読]：自分の主張が的確に伝わるように書かれているか吟味し、読み手からの助言などを踏まえて、文章の構成や展開、表現の仕方などに関する自分の文章の特徴や課題を捉え直すことができる c：言葉を通して他者や社会に関わろうとしている	定期考査	定期考査 ノート	
	グローバル化の先へ―世界は一つになりうるか？ ［教材］『世界は、いま―「多文化世界」の構築』	a：文章の種類に基づく効果的な段落の構造や論の形式など，文章の構成や展開の仕方について理解している b[書]：人間、社会、自然などについて、文章の内容や解釈を多様な論点や異なる価値観と結び付けて、新たな観点から自分の考えを深めることができる c：言葉を通して他者や社会に関わろうとしている	ワークシート 小テスト 定期考査	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート 振り返りシート

４　学習の活動

※表中の観点について　a：知識・技能　b：思考・判断・表現　c：主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　　）時間

・書くこと　…　（　40　）時間

・読むこと　…　（　80　）時間